

教員業務内容報告書

報告者氏名	筈木 宏和	所属	生化	職位	教授	報告年度	令和5年度
-------	-------	----	----	----	----	------	-------

分野	計画		実績		記載事項例
	エフォート	内容	エフォート	内容(計画からの変更点)	
教育	20	<p>各種講義の継続的な授業資料の改訂を行う。特に、不合格者が多くなっている学生実験テキストの改訂に取り掛かる。有機化学実験のレポートを参考にして、テキストの一部改訂を行う。</p> <p>卒業研究・専攻科研究の指導を継続的に行う。学生の学会発表のサポートを行う(日本生物工学会)</p> <p>担当科目:前期:環境工学、有機化学2、生物化学実験 後期:生体物質化学、代謝工学、情報化学1、2、生物工学実験、基礎化学実験</p>			<p>担当科目名・単位数 卒業研究・専攻科研究指導学生数 教育方法改善内容</p>
研究	25	<p>科研費採択課題の実施を進める</p> <p>ゴム分解微生物の変異体の拾い出し試験と酵素の抽出試験を引き続き実施する。また、年度後半に、ゴム分解酵素をコードした遺伝子部位の配列解析を行う。</p> <p>ゴム分解微生物のAI解析について、日本ゴム協会誌に論文を投稿する。</p> <p>学会発表の実施(日本生物工学会)</p>			<p>論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金</p>
学生生活指導	15	<p>高体連大会引率</p> <p>高体連南部ブロック顧問会議参加</p> <p>弓道場の再建に関する業務実施</p>			<p>クラブ顧問 コンテスト指導</p>
校務・管理運営	25	<p>産学民連携テクノセンター長として、地域との連携、提携行事の開催などの実施を行う。</p>			<p>主事 その他の長 学科長 委員長 部会長 主事補等 担任 委員会委員 部会員</p>
社会活動	15	<p>九州支部代表として、日本ゴム協会幹事会に監事として参加する。</p> <p>日本ゴム協会の監査を実施する。</p> <p>日本ゴム協会九州支部幹事会に参加し、地域ゴム企業と交流を深める。また、講演会等開催担当を行う。</p>			<p>所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動</p>

(注) エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt~12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。